

# 令和5年度 事務事業評価表

9067

一般会計

事務事業名	男女共同参画意識啓発事業			
事務事業担当	部名 文化スポーツ部	課名 国際・男女共同参画課	担当名 国際・男女共同参画係	責任者 山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	男女共同参画が実感できている		
根拠法令	名称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成13年度	事業終了(予定)年度		事業期間 設定無し

## 2. 事務事業の概要

対象	総事業費 (単位: 千円)			
	事業費	4年度(決算額) 238	5年度(決算額) 229	6年度(予算額) 429
市民・市職員	人件費	3,490	1,723	2,253
目的	総事業費	3,728	1,952	2,682
男女共同参画の意識の浸透・向上を図ります。	6年度事業費(予算額) 財源内訳			
手段、手法【実施手法: 直営】	国支出金			0
・男女共同参画に係る意識を効果的に浸透、向上させる ことができる場と機会をより多く提供します。 ・行政と市民が一体となり、市民の視点を取り入れた、 男女共同参画意識啓発事業の展開を図ります。 ・あらゆる分野で市民が男女共同参画の視点が持てるよ う、広報啓発活動の充実を図ります。	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			429
	合計			429
成 果(効果・予測)	3. 活動内容			
法、制度の周知や、これまでの固定的な男女のあり方に 対する意識の改善を図ることで、男女が平等であると思 える社会、「男女共同参画社会」の実現が推進されます 。	活動指標1	名称 啓発事業の開催回数	単位 回	
	内容説明	セミナーやパネル展等の開催回数		
	指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 4	6年度 4
		実績	3	4
課 題	活動指標2	名称 セミナー等の参加者数	単位 人	
啓発について、効果的な手法を適宜検討していくとともに に、幅広く市民に参加していただけるような事業展開を 行う必要があります。	内容説明	男女共同参画意識啓発のため講座等の参加者数		
	指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 50	6年度 50
		実績	0	30
	活動指標3	名称 情報誌の年間発行部数	単位 部	
	内容説明	情報誌「わくわく」の発行部数		
	指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 4,000	6年度 3,000
		実績	3,500	3,000
	活動指標4	名称	単位	
	内容説明			
	指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 4,000	6年度 3,000
		実績		---

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 II: 見直しのうえで継続	4年度 I: 現状のまま継続	5年度 II: 見直しのうえで継続	
	市民の男女共同参画に係る意識の浸透及び向上を図るために、府内の会議や大和市男女共同参画懇話会で幅広く意見をうかがいながら、企業表彰や情報誌「わくわく」の発行、市民セミナーの開催などの様々な啓発事業を実施していきます。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】			

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 男女共同参画社会の実現に向けて、国や県とともに取り組んでいく必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。 イベントの実施方法や効果的な市民への周知啓発について工夫することにより、さらに成果を上げる余地があると考えます。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 最小限の人数で効率的に成果をあげられるよう、業務に取り組んでおり、適正と考えます。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 社会全体への男女共同参画の理解促進を図っているため、適正と考えます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	本事業自体がSDGsの国際目標に係る内容となっています。また、広報やホームページなどによる情報提供の実施など、社会的配慮に努めています。

# 令和5年度 事務事業評価表

9083

一般会計

事務事業名	国際化推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成04年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

## 2. 事務事業の概要

対 象 外国人市民及び外国人市民を支援する日本人市民等	総事業費 (単位 : 千円)				
	事業費	4年度 (決算額) 13, 257	5年度 (決算額) 16, 222	6年度 (予算額) 17, 972	
	人件費	5, 439	5, 257	5, 633	
	総事業費	18, 696	21, 479	23, 605	
6年度事業費 (予算額) 財源内訳					
国支出金 0					
県支出金 1, 728					
市債 0					
その他 176					
一般財源 16, 068					
合 計 17, 972					
3. 活動内容					
目的 日本語が母語ではない外国人市民の支援や、日本人市民向けに日本で暮らす外国人市民に関する理解を促進するよう働きかけ、多文化共生社会の実現を目指します。	活動指標1 手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・(公財)大和市国際化協会と連携して国際化を推進します。	名称 通訳相談件数	単位 件		
		内容説明 国際化協会及び市役所において、協会の通訳者が対応			
		指標値 予 定	4年度 2, 300	5年度 (当該年度) 2, 000	6年度 2, 000
		実 績	2, 119	1, 716	---
活動指標2 成果（効果・予測） 本市が日本人市民と外国人市民の双方にとって暮らしあいまちとなることで、多文化共生社会のまちづくりが進みます。	名称 生活ガイド配布部数	単位 部			
	内容説明 多言語版				
	指標値 予 定	4年度 900	5年度 (当該年度) 900	6年度 900	
	実 績	874	600	---	
活動指標3 課 題 外国人市民が地域住民として生活するためには、医療、保険、教育、雇用などの情報を的確に提供するほか、通訳・翻訳業務をはじめ、相談支援体制の充実が求められます。	名称 協働事業の実施回数	単位 回			
	内容説明 「つるま読み書きの部屋」開催				
	指標値 予 定	4年度 18	5年度 (当該年度) 18	6年度 18	
	実 績	15	11	---	
活動指標4 今後の方針等	名称	単位			
	内容説明				
	指標値 予 定	4年度	5年度 (当該年度) 6年度		
	実 績			---	

## 4. 今後の方針等

3年度 II : 見直しのうえで継続	4年度 II : 見直しのうえで継続	5年度 II : 見直しのうえで継続
外国人市民の自立と社会参加を促進するため、(公財) 大和市国際化協会と協力し、国・県の補助金を活用しながら、地域における日本語教育の体制の整備、充実を図ります。また、「やさしい日本語」の活用をひろげ、多くの外国人市民への情報提供に努めるとともに、外国人市民サミット等で外国人市民のニーズを把握し、多文化共生の地域づくりを推進します。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】		

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 「互いに認め合う社会」の実現に向けて、多文化共生施策に取り組んでいく必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。
	A	A	A	外国人市民が地域で暮らすための情報の多言語化と自立した生活を営むための日本語学習支援のほか、地域のNPO法人などと連携して、外国につながる子どもたちへ日本語・教科学習支援を継続的に行うことで、相互理解を深める多文化共生施策の推進が図られると考えます。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	国際化推進に係る業務量は例年増加傾向にあり、専門性を持った人材の協力が必要不可欠であることから、現状における事業費・人件費は適正であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	外国人市民から個別に通訳・翻訳依頼があった際には、それぞれに定められた負担を求めていることから、受益の公平性と負担の適正化は図られていると考えます。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	B : 社会的配慮は行っているが、まだ不十分である。
	B	B	B	外国人市民に対し必要な行政情報が適切に届くよう多言語での情報提供に配慮とともに、「やさしい日本語」の活用を進めています。また、外国人市民が地域の担い手として地域参加できるよう引き続き取り組んでいきます。

## 令和5年度 事務事業評価表

9085

一般会計

事務事業名	国際化協会支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成06年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位 : 千円)			
	事業費	4年度（決算額） 32,279	5年度（決算額） 28,461	6年度（予算額） 31,602
交付先 : 公益財団法人大和市国際化協会	人件費	3,114	3,004	3,004
	総事業費	35,393	31,465	34,606
目的 多文化共生の地域づくりを推進します。				
手段、手法【実施手法 : 直営】 ・外国人市民の自立と社会参加を促進する事業及び市民の相互理解を促進し、市民主体の国際化推進活動を支援する事業を行う(公財)大和市国際化協会の運営に対する補助を行います。				
6年度事業費（予算額）財源内訳 国支出金 県支出金 市債 その他 一般財源 合 計				
0 0 0 0 31,602 31,602				
3. 活動内容				
活動指標1	名称	補助金交付回数	単位	回
	内容説明	年額を等分し、2回に分けて交付しています。		
	指標値	4年度 予 定	5年度（当該年度） 2	6年度 2
	実 績	2	2	---
活動指標2	名称	国際化協会実施事業数	単位	事業
	内容説明	市民に向けて実施した講座等の数		
	指標値	4年度 予 定	5年度（当該年度） 26	6年度 26
	実 績	24	25	---
活動指標3	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度 予 定	5年度（当該年度） 26	6年度 26
	実 績			---
活動指標4	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度 予 定	5年度（当該年度） 26	6年度 26
	実 績			---

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	II : 見直しのうえで継続
		引き続き多文化共生の地域づくりに向けて、地域の国際化推進の担い手を増やし、外国人市民との相互理解を促進する取り組みを推進していきます。				

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 多文化共生の地域づくりに向けて、（公財）大和市国際化協会と連携して、事業に取り組む必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。 外国人市民数の動向及びニーズについて的確に捉え、効果的な事業を推進・展開していくことにより、さらに成果をあげる余地があると考えます。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	最小限の人員で効果的な成果をあげられるように取り組んでおり、経費については適正な水準であると考えます。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 通訳・翻訳依頼について実費負担を求めるなど、受益の公平性と負担の適正化は図られていると考えます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	外国人市民の自立と社会参加を促進するため、情報誌やFMやまと、（公財）大和市国際化協会のホームページやフェイスブックなどを活用し、多言語とやさしい日本語での情報提供に努めています。

# 令和5年度 事務事業評価表

9086

一般会計

事務事業名	平和都市推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し
	昭和61年度			

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
市民	事業費	1,735	1,712	1,933		
	人件費	5,172	5,832	6,384		
	総事業費	6,907	7,544	8,317		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
	国支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他				360	
	一般財源				1,573	
	合 計				1,933	
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法：直営・委託】	名称	実施事業数（含む定例会）			単位	回
	内容説明	平和都市推進事業数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	13	14	13	
成 果（効果・予測）	指標値	実 績	11	12	---	---
		名称	語り部の派遣事業			単位 校
		内容説明	学校からの求めに応じて語り部を派遣した学校数			
		予 定	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
課 題			10	10	10	
指標値	実 績	7	6	---	---	
	名称	語り部の講話を記録に残す事業			単位 回	
	内容説明	戦時体験の講話を記録に残す事業実施回数				
活動指標1	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	1	1	1	
		実 績	1	1	---	---
活動指標2	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	10	10	10	
		実 績	7	6	---	---
活動指標3	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	1	1	1	
		実 績	1	1	---	---
活動指標4	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
		実 績			---	---

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	引き続きパネル展の充実のほか、子ども向けの平和映画上映など、児童・生徒が平和について考える機会をつくります。					

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 市民が平和の大切さを学べる場をつくり、平和について考える機会を提供することは必要であると考えます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 児童・生徒はもとより、幅広い年齢層の市民に平和の尊さについて考える機会を提供できるよう、引き続き周知方法や事業内容について工夫します。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 大和市平和都市推進事業実行委員会は無報酬であり、事業費も必要最低限の経費で実施しています。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 事業実施の際は、参加者に一定の負担を求めており、受益の公平性が図られていると考えます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 大和市平和都市推進事業実行委員会は市内の各団体及び公募市民により構成されており、偏りのない平和事業を展開しています。
	A	A	A	

# 令和5年度 事務事業評価表

9090

一般会計

事務事業名	人権啓発事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている		
根拠法令	名 称	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和47年度			設定無し

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	1,857	1,800	2,076		
	人件費	5,367	5,986	5,633		
	総事業費	7,224	7,786	7,709		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金		0		
		県支出金		558		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		1,518		
		合 計		2,076		
3. 活動内容						
活動指標1	名称	人権教室開催数			単位	回
	内容説明	市内小中学校向けに人権教室を開催します。				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	4	5	5	
活動指標2	名称	人権作文コンテスト応募者数			単位	人
	内容説明	市内中学生の人権作文を募集します。				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	650	670	650	
活動指標3	名称	人権ポスター募集応募者数			単位	人
	内容説明	市内中学生の人権ポスターを募集します。				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	25	25	100	
活動指標4	名称	人権啓発資料配布実施回数			単位	回
	内容説明	街頭などにおいて人権に関する啓発資料を配布します。				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	4	7	6	
		実 績	6	6	---	

## 4. 今後の方針等

3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
今後の方針等					

多くの市民が人権について考える機会を増やしていくよう、人権擁護委員の日、人権週間の啓発活動を効果的に実施するほか、人権擁護委員による学校への働きかけを通じ、人権作文コンテストやポスター募集への積極的な参加を促します。また、多様性を尊重する社会の実現を目指し、パートナーシップ宣誓制度や、やまとSOGI派遣相談の認知を高めていきます。さらに、ホームページやチラシ配布、広報やまとなど、多様な媒体を利用して周知を行っていきます。

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 大和市人権指針に基づき、全ての市民の人権が尊重される地域社会の実現を目指すため、市が関与する必要性が高いと考えられます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 各種人権啓発活動や、学校での人権教室を実施したほか、ホームページ及びラジオ放送等により、多くの市民に周知・啓発を図りました。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 円滑に事業を実施するための必要最小限の経費で事業を実施しています。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 人権意識の普及高揚を図るための経費であり、受益の公平性と負担の適正性は図られています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 本事業は、すべての人が尊重される社会の実現を目指しているため、SDGsの達成に寄与することができると考えます。
	A	A	A	

## 令和5年度 事務事業評価表

9091  
一般会計

事務事業名	人権相談支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間
事務事業の期間	昭和47年度			設定無し

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位 : 千円)			
	事業費	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	人件費	270	270	272
目的	総事業費	2,161	1,944	1,878
人権問題の解決を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】	国支出金			0
・法務大臣より委嘱された人権擁護委員が人権相談を受付けます。	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			272
	合 計			272

## 3. 活動内容

活動指標1	名称	人権問題全般の相談開設数			単位	日
	内容説明	人権擁護委員による当該年度相談開設数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定	23	25	26		
	実 績	23	25	---		
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績			---		
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績			---		
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績			---		

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	II : 見直しのうえで継続	5年度	I : 現状のまま継続
	令和5年度から再開した対面及び電話による相談窓口の運営を継続します。また、対面や電話による相談に抵抗がある市民に対しては、引き続きSNSによる相談窓口の周知を実施します。					

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 多様な相談ニーズに応えていくため、人権擁護委員と連携して行うべきであるから、市が実施すべき事業として妥当性が高いと言えます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 市民にとって身近な相談窓口として、多様な相談に応えていくことができると考えます。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 本市人権擁護委員の活動に要する必要最小限の経費です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 相談料は無料としているため、受益の公平性と負担は適正であると考えます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 本事業は、すべての人が尊重される社会の実現を目指しているため、SDGsの達成に寄与することができると考えます。
	A	A	A	

## 令和5年度 事務事業評価表

19592

一般会計

事務事業名	海外友好都市交流事業			
事務事業担当	部名 文化スポーツ部	課名 国際・男女共同参画課	担当名 国際・男女共同参画係	責任者 山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている		
根拠法令	名称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成20年度	事業終了(予定)年度		事業期間 設定無し

## 2. 事務事業の概要

対象 市民・外国の都市と交流している団体	総事業費 (単位: 千円)			
	事業費	4年度(決算額) 633	5年度(決算額) 1,419	6年度(予算額) 4,444
	人件費	2,160	5,633	6,384
	総事業費	2,793	7,052	10,828
6年度事業費(予算額)財源内訳				
国支出金 0				
県支出金 0				
市債 0				
その他 225				
一般財源 4,219				
合計 4,444				

## 3. 活動内容

目的 海外友好都市と市民相互の理解を深め、国際社会の平和と発展に寄与します。	手段、手法【実施手法: 直営】 ・やまと国際交流指針に基づき、海外友好都市との交流事業を推進します。	活動指標1	名称 友好都市との交流イベントの数	単位 回	
		内容説明	相互訪問等		
		指標値	4年度 予定 2	5年度(当該年度) 1	
			実績 0	6年度 2	
成果(効果・予測)		活動指標2	名称	単位	
友好都市との交流により、市民が世界に目を向け国際交流をする機会を提供し、相互の市民の信頼関係、連帯感、親近感により相互理解が深まり、世界平和に貢献します。		内容説明	相互訪問等		
		指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 1	
			実績 0	6年度 ---	
課題		活動指標3	名称	単位	
交流方法や事業内容について、光明市との情報交換を継続していく必要があります。		内容説明	相互訪問等		
		指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 1	
			実績 0	6年度 ---	
今後の方針等		活動指標4	名称	単位	
3年度 I : 現状のまま継続		内容説明	相互訪問等		
国際交流・多文化共生によるまちづくりを推進していくため、大韓民国光明市との青少年交流等を行い、相互理解の推進及び友好関係の構築に努めます。		指標値	4年度 予定	5年度(当該年度) 1	
今後の方針等			実績 0	6年度 ---	

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
国際交流・多文化共生によるまちづくりを推進していくため、大韓民国光明市との青少年交流等を行い、相互理解の推進及び友好関係の構築に努めます。			

## 5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 市民に国際交流の機会を提供し、青少年の国際感覚をはぐくむなど、地域社会における国際交流の環境整備は必要であると考えます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 令和5年度に光明市担当者と現地で調整を行い、令和6年度に青少年交流を円滑に再開できるよう道筋をつけることができました。
	—	—	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 事業費・人件費について、適正であると考えます。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 令和5年度に光明市担当者と現地で調整を行い、令和6年度に青少年交流を円滑に再開できるよう道筋をつけることができました。青少年交流における参加者には、一定の負担を求めるため、受益の公平性が図られると考えます。
	—	—	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 やまと国際親善委員会では、学識経験者に加え公募による市民参加が可能であり、広く意見を求めて海外交流事業を展開しています。
	—	—	A	

## 令和5年度 事務事業評価表

9066  
一般会計

事務事業名	男女共同参画プラン策定・管理事業			
事務事業担当	部名 文化スポーツ部	課名 国際・男女共同参画課	担当名 国際・男女共同参画係	責任者 山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	男女共同参画が実感できている		
根拠法令	名 称	男女共同参画社会基本法 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無	一部有			
事務事業の期間	事業開始年度 平成24年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

## 2. 事務事業の概要

対象 やまと男女共同参画プラン	総事業費 (単位: 千円)			
		4年度(決算額)	5年度(決算額)	6年度(予算額)
	事業費	1,501	50	117
	人件費	7,896	6,450	6,384
目的 やまと男女共同参画プランを指針とする具体施策の策定 ・展開・管理を行い、市民等と連携し男女共同参画社会の実現を目指します。	総事業費	9,397	6,500	6,501
手段、手法【実施手法：直営】 ・やまと男女共同参画プランの推進を図るため、実施計画で具体的な取り組み内容と期間を定め、報告書を作成し進行管理を行います。 ・毎年度終了後に事業所管課から、事業評価の実施状況報告を受け、結果を「A S(アクティブ・スタッフ)会議」や「男女共同参画行政推進会議」に諮り、進行管理を行います。 ・進行状況は広く公表し、事業の推進を図ります。	6年度事業費(予算額) 財源内訳			
成 果(効果・予測) 男女共同参画社会の実現に向け、着実にプランの進行管理を行うことで、プランにかかげた目標が実現されます。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			117
	合 計			117
3. 活動内容				
活動指標1 手段、手法【実施手法：直営】 ・やまと男女共同参画プランの推進を図るため、実施計画で具体的な取り組み内容と期間を定め、報告書を作成し進行管理を行います。 ・毎年度終了後に事業所管課から、事業評価の実施状況報告を受け、結果を「A S(アクティブ・スタッフ)会議」や「男女共同参画行政推進会議」に諮り、進行管理を行います。 ・進行状況は広く公表し、事業の推進を図ります。	名称	男女共同参画懇話会開催回数	単位	回
	内容説明	プラン推進のための市民等による懇話会開催回数		
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度
	予 定	3	4	3
活動指標2 手段、手法【実施手法：直営】 ・やまと男女共同参画プランの推進を図るため、実施計画で具体的な取り組み内容と期間を定め、報告書を作成し進行管理を行います。 ・毎年度終了後に事業所管課から、事業評価の実施状況報告を受け、結果を「A S(アクティブ・スタッフ)会議」や「男女共同参画行政推進会議」に諮り、進行管理を行います。 ・進行状況は広く公表し、事業の推進を図ります。	名称	行政推進会議開催回数	単位	回
	内容説明	プラン進行管理のための府内推進会議の開催回数		
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度
	予 定	1	2	1
活動指標3 手段、手法【実施手法：直営】 ・やまと男女共同参画プランの推進を図るため、実施計画で具体的な取り組み内容と期間を定め、報告書を作成し進行管理を行います。 ・毎年度終了後に事業所管課から、事業評価の実施状況報告を受け、結果を「A S(アクティブ・スタッフ)会議」や「男女共同参画行政推進会議」に諮り、進行管理を行います。 ・進行状況は広く公表し、事業の推進を図ります。	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度
	予 定			
活動指標4 手段、手法【実施手法：直営】 ・やまと男女共同参画プランの推進を図るため、実施計画で具体的な取り組み内容と期間を定め、報告書を作成し進行管理を行います。 ・毎年度終了後に事業所管課から、事業評価の実施状況報告を受け、結果を「A S(アクティブ・スタッフ)会議」や「男女共同参画行政推進会議」に諮り、進行管理を行います。 ・進行状況は広く公表し、事業の推進を図ります。	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度
	予 定			

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	II : 見直しのうえで継続
	平成31年度より施行の「第3次やまと男女共同参画プラン」に基づき施策の進行管理を行うとともに、令和6年度末の同プランの計画期間終了に伴い、次期プランを策定します。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

## 令和5年度 事務事業評価表

9084

一般会計

事務事業名	国際化基金管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 礼子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成05年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
国際化基金	事業費	0	500	11		
	人件費	74	376	376		
	総事業費	74	876	387		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			11		
	一般財源			0		
	合 計			11		

## 3. 活動内容

活動指標1	名称	国際化基金寄付受入件数			単位	回
	内容説明	寄付金の件数（ふるさと納税分は含まず）				
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定	2	2	2		
指標値	実 績	0	1	---		
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
指標値	実 績			---		
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
指標値	実 績			---		
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
指標値		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
指標値	実 績			---		

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	II : 見直しのうえで継続	5年度	I : 現状のまま継続

令和6年度に韓国光明市に派遣する青少年訪問団について、近年の渡航費増額に伴う個人負担費用の増額を抑えるために、基金を活用します。

## 令和5年度 事務事業評価表

9087

一般会計

事務事業名	平和意識啓発活動支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	あらゆる差別がなくすべての人が互いの人権を尊重し合っている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和61年度		設定無し	

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	0	30	60		
	人件費	1,638	1,568	1,502		
市内の平和活動団体	総事業費	1,638	1,598	1,562		
目的	6年度事業費（予算額）財源内訳					
平和意識の普及・啓発を推進するため市内の平和活動団体を支援します。	国支出金				0	
手段、手法【実施手法：直営】	県支出金				0	
市内の平和活動団体の平和推進事業に対し、市としてメッセージを贈ったりまたは補助金を交付するなどの後方支援を行います。	市債				0	
	その他				0	
	一般財源				60	
	合 計				60	

## 3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金交付事業数			単位	件
	内容説明	補助金を交付した市民団体の平和意識啓発事業数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	2	2	2	
活動指標2	名称	平和関係団体への支援数			単位	団体
	内容説明	メッセージ・後援名義使用等による平和関係団体への支援数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	10	10	10	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	
引き続き、平和関連団体の活動を支援していきます。				

## 令和5年度 事務事業評価表

16860

一般会計

事務事業名	審議会等女性参加促進事業			
事務事業担当	部名	課名	担当名	責任者

文化スポーツ部

国際・男女共同参画課

国際・男女共同参画係

山崎 札子

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	男女共同参画が実感できている		
根拠法令	名称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し

## 2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位: 千円)	
		4年度(決算額)	5年度(決算額)	6年度(予算額)		
各審議会等	事業費	0	0	0		
	人件費	372	376	376		
	総事業費	372	376	376		
6年度事業費(予算額)財源内訳						
	国支出金					0
	県支出金					0
	市債					0
	その他					0
	一般財源					0
	合計					0
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法: 直営】	名称	女性委員登用の働きかけ回数			単位	回
	内容説明	各審議会等事務局への女性委員積極的登用の働きかけ回数				
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
		予定	3	3	3	
成 果(効果・予測)	名称	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定	2	2	2
課 題	名称	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定	2	2	2
	内容説明	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定	2	2	2
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				
		指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度	
			予定			
	指標値	女性委員参画率の公表手段数			単位	種類
		公表方法のチャンネル数				

## 令和5年度 事務事業評価表

46926

一般会計

事務事業名	外国人避難民受入事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

## 1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち		
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる		
	めざす成果	地域の中で多文化共生が行われている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し

## 2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位 : 千円)			
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
	事業費	109	2	139
	人件費	1,489	1,502	3,004
目的		総事業費	1,598	1,504
祖国からの避難を余儀なくされた方への支援を行います。		6年度事業費（予算額）財源内訳		
手段、手法【実施手法：直営】		国支出金		0
・避難民に対して、国等からの支援情報を速やかに提供するとともに、それぞれのケースに応じた支援を実施していきます。		県支出金		0
成 果（効果・予測）		市債		0
ウクライナ避難民の方々を含めた多様な背景を持つ人々を認め合い、地域社会で支え合い、受け入れていく環境づくりが図られます。		その他		0
課 題		一般財源		139
国の施策により実施される事業のため、国の動向に加え、県や他市の支援内容についても注視していく必要があります。		合 計		139

## 3. 活動内容

活動指標1	名称	避難民支援回数			単位	回
	内容説明	ウクライナ避難民が生活するうえで種々の支援を行った回数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	61	36	72	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				

## 4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	—	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	国、県の施策及び他市の支援内容を注視し、支援団体と調整を図りながら、支援を継続していきます。					